



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月12日 東

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所  
 コード番号 3169 URL <http://www.unico-fan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 裕之 (TEL) 03-5723-8500  
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月16日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績 (平成26年2月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	3,951	28.8	436	84.2	436	83.2	226	97.6
26年1月期第2四半期	3,066	21.9	236	△6.7	237	△23.0	114	△30.5

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 236百万円(145.5%) 26年1月期第2四半期 96百万円(△40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	108.81	102.44
26年1月期第2四半期	55.13	51.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第2四半期	3,359	1,372	40.9
26年1月期	3,172	1,136	35.8

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 1,372百万円 26年1月期 1,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想 (平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,404	17.2	613	22.2	605	24.5	334	42.2	160.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年1月期2Q	2,085,600株	26年1月期	2,085,200株
27年1月期2Q	147株	26年1月期	120株
27年1月期2Q	2,085,199株	26年1月期2Q	2,083,287株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の金融政策により、個人消費や設備投資の増加等が顕著化し、景気全般においての底上げ感が感じられました。海外におきましても、中国が成長鈍化する中、他の東南アジアの国々の継続的な成長が見られました。先進国でもヨーロッパ各国の経済危機からの脱出や、アメリカ経済の緩やかな成長等の回復基調で推移しております。

当社グループが属する家具・インテリア業界におきましても、消費増税前の駆け込み需要とその反動による落ち込みとの落差の激しい消費が見られましたが、当初懸念された混乱は限定的で、総じて堅調な市場環境が形成されてきております。

このような経済環境のもとで、当社グループは「肩の力を抜いた自分らしい暮らしの提案」というコンセプトをもとに事業展開し、当社グループの中核事業にあたるunico事業におきましては、平成26年1月31日より公式Facebookページを開設し、同年7月末時点で30,000いいね！を獲得するなど、高いご支持をいただいております。また、unicoハウスカードの新規会員獲得を目的とした「新作カタログプレゼントキャンペーン」、新生活需要に応えた「配送料無料キャンペーン」、雑貨企画として「JAPAN MADE」、新チャネルの開拓として「ハウスメーカーとのコラボ企画」等を実施いたしました。food事業部におきましては、unicoが提案する世界観やライフスタイルを補完する事業と位置づけております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,951,440千円（前年同四半期比28.8%増）、営業利益436,183千円（同84.2%増）、経常利益436,009千円（同83.2%増）、四半期純利益226,893千円（同97.6%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

#### ①unico事業

unico事業における主たる売上である家具におきましては、新たな領域として投入したラタン製品のCAGEおよびDOUCEの2シリーズ、男性顧客の取り込みや女性の中性的志向を睨んだスチール家具のFUNCシリーズを展開しご好評をいただきました。

カーテンにおきましては、当社デザイナーによるオリジナル企画アイテムの構成比率が70%を超えるなど、競合との差別化を図ることでご好評いただきました。

出店状況におきましては、平成26年3月出店のunico大宮により埼玉全域および北関東、同年4月出店のunico町田により多摩南部・神奈川県央地域のシェア取りを図ってまいりました。また、同年2月にunico名古屋を30～40歳代の女性を対象とした名古屋地区で最も集客力のある商業施設のうちのひとつである「LACHIC」に移転し、更なる売上拡大に努めてまいりました。これらにより、同年7月末時点で、全国合計30店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,868,211千円（前年同四半期比28.9%増）、セグメント利益は、431,484千円（同80.5%増）となりました。

#### ②food事業

BISTRO KHAMSAでは、お客様のニーズや店舗コンセプトに合わせたイベントの実施、また販促物の見直しによる積極的な情報発信が新規顧客の獲得となり、安定した売上高の向上に繋がりました。Le Bistroでは、クオリティを重視したメニューや季節に合わせたメニューの開発等により、引き続きリピーターから高いご支持をいただきました。bistro oeuf oeufでは、新たな試みとして実施したカジュアルなワインのご提供や新メニューの開発により、継続したリピーターからの高いご支持をいただきました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、83,228千円（前年同四半期比25.0%増）、セグメント利益は、4,699千円（前年同四半期は2,286千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より187,214千円増加し、3,359,588千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加111,726千円、及び売上高の増加に伴う売上債権の増加52,308千円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ49,157千円減少し、1,986,726千円となりました。これは主に、借入金の減少38,633千円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ236,371千円増加し、1,372,862千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加226,893千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成26年3月11日の「平成26年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	500,856	612,583
売掛金	390,766	443,074
商品及び製品	984,818	922,118
仕掛品	13,530	17,797
原材料及び貯蔵品	70,055	85,447
繰延税金資産	30,376	30,376
その他	123,182	173,949
流動資産合計	2,113,585	2,285,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	420,520	424,894
その他(純額)	109,516	113,490
有形固定資産合計	530,037	538,385
無形固定資産		
繰延税金資産	66,957	72,605
投資その他の資産		
繰延税金資産	82,404	82,404
敷金及び保証金	368,153	370,376
その他	11,236	10,468
投資その他の資産合計	461,794	463,249
固定資産合計	1,058,788	1,074,240
資産合計	3,172,374	3,359,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	247,908	207,529
短期借入金	236,392	87,007
1年内返済予定の長期借入金	299,870	321,580
未払法人税等	175,747	205,565
前受金	293,310	235,469
賞与引当金	37,107	73,932
その他	295,138	318,900
流動負債合計	1,585,475	1,449,984
固定負債		
長期借入金	404,961	494,003
退職給付引当金	8,055	8,525
資産除去債務	29,719	29,829
その他	7,671	4,383
固定負債合計	450,407	536,742
負債合計	2,035,883	1,986,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	206,274	206,283
資本剰余金	186,274	186,283
利益剰余金	748,489	975,383
自己株式	△155	△190
株主資本合計	1,140,882	1,367,759
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,391	5,103
その他の包括利益累計額合計	△4,391	5,103
純資産合計	1,136,490	1,372,862
負債純資産合計	3,172,374	3,359,588



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
売上高	3,066,926	3,951,440
売上原価	1,268,633	1,626,320
売上総利益	1,798,293	2,325,119
販売費及び一般管理費	1,561,480	1,888,936
営業利益	236,812	436,183
営業外収益		
受取利息及び配当金	61	38
為替差益	5,516	1,015
運送事故受取保険金	1,209	2,206
その他	1,152	1,456
営業外収益合計	7,941	4,716
営業外費用		
支払利息	4,811	4,100
その他	1,987	790
営業外費用合計	6,799	4,890
経常利益	237,954	436,009
税金等調整前四半期純利益	237,954	436,009
法人税等	123,111	209,115
少数株主損益調整前四半期純利益	114,843	226,893
四半期純利益	114,843	226,893

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	114,843	226,893
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△18,536	9,494
その他の包括利益合計	△18,536	9,494
四半期包括利益	96,306	236,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,306	236,388
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。